

福祉サービス第三者評価 評価結果

(公表用)

横浜市上永谷西保育園

横浜市港南区上永谷 6-8-3

運営主体：横浜市

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2～4 ページ
評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
分類別評価結果	7～17 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	18～25 ページ
利用者本人調査分析	26～27 ページ
事業者コメント	28 ページ

2008年3月25日

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	横浜市上永谷西保育園		
報告書作成日	2008年3月25日	評価に要した期間	約9ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間：2007年7月頃 ～2008年1月15日</p>	<p>全職員会議に評価機関も参加し、第三者評価の概要説明と、質疑応答を行った。</p> <p>各セクション（保育士と調理員、福祉員、アルバイト福祉員）ごとに評価項目に沿って、ミーティングや会議などで学習会を行い、終了後に各個人が自己評価票を記入。</p> <p>各個人が記入した自己評価票を、第三者評価事業の担当者がセクションごとに集計し、集計表をもとに園長と協議・合意して、まとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間：2007年12月1日 ～12月14日</p>	<p>全園児の保護者（63家族）に対して保育園から手渡し。同封の返信用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 08年2月25日 第2日 08年2月27日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスにて保育観察、その後、園庭での外遊び観察。 昼食：2、3、5歳児クラスで園児と一緒に頂く。 午後：書類調査、および園長・主任に面接調査。 夕方は降園の様子を観察。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は、登園の様子を観察。 各クラスにて保育観察、その後、園庭での外遊び観察。 昼食：2歳児クラス、4歳児クラスで園児と一緒に頂く。 午後：各クラス担任、調理員、アルバイト保育士、福祉員に個別に面接調査。その後、園長・主任に面接調査。 最後に園長・主任と意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 08年2月25日 第2日 08年2月27日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、園庭での外遊びも観察。5歳児以上の園児を中心に、観察調査時および昼食同席時に、適宜聞き取りも実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

横浜市上永谷西保育園は、横浜市営地下鉄「下永谷」駅または「上永谷」駅から歩いて15分、港南区の住宅地の中にあります。近くには公園も多く、緑が多い静かな環境です。

当園は1977年（昭和52年）横浜市により開設されました。定員は1歳児～5歳児で69名、開園時間は、平日は午前7時30分～午後6時30分、土曜日は午前7時30分～午後3時15分です。園舎は軽量鉄骨平屋建てで、園庭、保育室はほぼ南に面しており、十分な採光が確保されています。

保育理念は、「子どもたちが、『現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う』ことができるように、保護者と共に育みます」となっています。この保育理念に基づき、園目標として「健康でいきいきと遊べる子ども」「自分の周りの人を大切に思える子ども」「自分で考え行動できる子ども」の3つを掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちはそれぞれのペースで集中して遊びこんでいます

保育室内は、ロッカーやおもちゃ棚、カーペットなどで仕切られ、子どもが小集団で遊べるコーナーが用意されています。おもちゃはままごとやブロック、人形、電車、パズル、積み木など量・種類とも豊富で、子どもの目線に合わせて自由に取り出して遊べるようになっています。このような中、子どもたちは、それぞれのペースで自分の好きなことを、じっくり集中して遊び込んでいます。自由遊びの時は、絵本やままごと、ブロック、電車、買い物ごっこ、指編み、お絵かきなど、それぞれが遊びたい様々な遊びに、一人ないしは小グループで取り組んでいて、とても集中しています。布団棚の下には、子どもが自由に入り込んで遊べるスペースがあり、そこで自分のペースでゆったりと過ごしている子どももいます。

絵本については特に工夫されています。時季にふさわしい絵本が、見やすく取り出しやすいように棚に並べられています。保護者へも、お便り「えほんだいすき」を通して、一緒に楽しむように誘っています。子どもたちは、自分が好きな絵本を自由に取り出して読んでいます。1、2歳児もお気に入りの絵本を覚えていて子どもが多くいます。また表紙の壊れた絵本の修復を保育士にお願いするなど、絵本を大切にしています。

幼児クラスには、はさみやのり、紙、クレヨン、粘土、ストロー、空き箱、毛糸、自然物（どんぐり）など自由に使える様々な素材が置かれた制作コーナーがあり、子どもたちに大変人気があります。これらの素材を用い、子どもたちは自由な発想で色々なものを作っています。保育室には一斉活動での作品だけでなく、自由遊びで描いた絵や作品も飾られています。

園庭では、思い思いに砂場遊びやボールけり、かけっこ、タイヤ引き、三輪車、縄跳びなどを楽しんでいます。子どもたちは、それぞれ物置から遊具を持ち出し、そして片付けています。

園目標「健康でいきいきと遊べる子ども」「自分で考え行動できる子ども」に沿った保育がなされていることがうかがえます。

2、子どもが落ち着いて過ごせる環境作りを行っています

園では、コーナーやおもちゃなどのほかにも、子どもたちが落ち着いて過ごせるよう、環境作りに力を入れています。一つの部屋を分けて使っている4、5歳児の保育室では、必要に応じて境のカーテンを閉め、各クラスが落ち着いて活動に取り組めるよう配慮しています。

保育士は、子どもたちが見通しを持って落ち着いて行動できるよう、幼児クラスの保育室にはスケジュ

ールボードを置き、その日の予定を子どもたちに知らせ、朝の会でも説明しています。また、次の行動に移る時には「 時になったらお片づけしようね」「長い針が になったら、お部屋に入りましょう」などと時計を用いて予定をあらかじめ知らせ、子どもたちが余裕を持って行動できるように働きかけています。

また、園での生活や遊びを安全で快適に過ごすために必要なことを、「お約束」事項として子どもたちと決め、なぜ守らなければいけないのかを分かりやすく説明しています。もしも子どもたちが守れなかった時は、保育士はその旨をはっきりと注意し、納得できるように話しています。子どもたちは、集団の中でルールを守ることを学ぶと同時に、その中で落ち着いて過ごすことができます。食事や排泄の場面においても、保育士はせかしたり、叱ったりせず、子どもたちのリズムに合わせて待ち、声をかけ、励まし、ほめています。

このような環境の下、子どもたちは落ち着いて園生活を生き生きと過ごしています。

3、地域の子育て支援に力を入れています

園庭開放や交流保育、子育てサロン（おしゃべりサロンカンガルー室）、保育園プチ体験、育児相談、育児講座を行い、地域の子育て支援に力を入れています。

園庭開放は月～金曜日の9時30分～12時に行っていて、現在の登録者は81名です。子どもを遊ばせながら、保育士に育児相談をするお母さんもいます。園庭開放で顔見知りになった親子と散歩先の公園であいさつしたり、一緒に遊んだり、交流が広がっています。

交流保育は七夕夏祭り、どろんこあそび、プール開放等に予約制で、毎回7組～9組の親子連れが参加しています。また、今年から、毎月の誕生会に、2～3組の親子が参加できるようにしました。

また、月1回、実施する子育てサロン（おしゃべりサロンカンガルー室）には、毎回2～3組の親子が参加しています。子どもと遊びながら、子育ての悩みを話し合う情報交換の場として利用されています。

保育園プチ体験は、5月末から月1回の設定で港南区内の公立12園で開催しています。当園では1、2歳児クラスに毎回3組の親子が参加しています。

育児講座としては、今年度は「子どもに食べさせたい本物の味」と題して食育について行い、調理員が「だし」のとり方を実演し、食育指導士の講演を行いました。この他に、港南区、下永谷ケアプラザとの協同事業「ひよこ広場」を下永谷保育園と一緒にしています。

このように、現在、保育園に求められている地域の子育て支援について、積極的に取り組んでいます。地域の中で有用な施設として利用されているだけでなく、このことは保育士にとっても、多くのことを学び、成長する良い機会となっています。今後とも、地域のニーズに応じた育児支援事業への継続的な取り組みが期待されます。

一層の推進を期待したい点

より一層の保護者とのつながり作りを

園の保育への取り組みを保護者に理解してもらうために、種々努めています。

入園説明会や懇談会で、保育園の基本理念・園目標・保育姿勢について説明するとともに、玄関や保育室に絵入りで一枚のポスターにまとめて分かりやすく掲示し、保護者に紹介しています。保育園の動きやクラスの様子は毎月発行の園だより「てをつなごう」で丁寧に伝えています。日々の保育の様子については、1、2歳児クラスは個別連絡ノートで、3、4、5歳児クラスは「クラスノート」で知らせるとともに、日々の送り迎え時には、保育士が子どもの様子を保護者に話すように努めています。その他にも、年2回のクラス懇談会や、年1回の個別面談を行って保護者との意思疎通に努めています。

また、玄関に「ひまわりポスト」(意見箱)を置いたり、行事の後にアンケートで保護者の意見や要望を

聞くようにしています。開園当初から作られた父母の会との連携も活発で、父母の会の役員会で出た意見を次年度の計画に反映しています。

ただし、保護者アンケートでは、「相談に乗ってくれる」「親切に対応してくれる」「やさしいです」など感謝の言葉も見られる一方で、「忙しそう」「話しかけにくい」「先生によって対応が違う」などの意見も見られます。また、保育園の施策が正しく保護者に伝わっていないと受け取られる意見も見られました。

園の保育をより良く理解してもらうためにも、現在の取り組みを推し進めるとともに、情報を伝える方法を工夫したり、送り迎え時の声かけを増やすなど、さらなる保護者とのつながりを工夫することが望まれます。そして、保育姿勢「保護者の方々と子育ての喜びや悩みを分かち合い、楽しい子育てができるように応援する」に向け推進し、保護者とのさらなる連携のもと、子どもたちにとってより良い保育がなされることを期待します。

評価領域ごとの特記事項

1、人権の尊重

- ◇ 保育の理念「子どもたちが、『現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う』ことができるように、保護者とともに育みます。」や、園目標「健康でいきいきと遊べる子ども」「自分や周りの人を大切に思える子ども」「自分で考え行動できる子ども」などは、子ども本人を尊重したもののなっています。
- ◇ 守秘義務の遵守、個人情報の取り扱いに関しては明文化して、職員に周知を図っています。また、ボランティアや実習生にも、オリエンテーション時に資料にて説明しています。
- ◇ 児童虐待については、園内研修などを通して全職員が虐待の定義、見分け方について学んでいます。また、常に子どもを観察し、虐待の早期発見に努めています。なお、虐待が疑われる場合には、関係機関と連携がとれる体制となっています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育の理念、園目標、保育姿勢は、子どもの自主性・主体性を育むものとなっています。園では子どもが主体的に活動できる環境を形作っています。保育士は、子どもたちが、それぞれのペースで集中して遊びこめるように、落ち着いて過ごせるように、環境作りに努めています。
- ◇ 子どもたちは、散歩の際に地域の人々とあいさつを交わすほか、消防署の見学、保護者の経営するお店の見学、更には老人クラブとの行事「ふれあいの日のつどい」などを通して、地域の人々と交流しています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、保育の理念、園目標、保育姿勢に基づき、保護者の状況にも配慮して作成しています。
- ◇ 指導計画の作成・評価・見直しにあたっては、職員会議・カリキュラム会議および毎日のミーティングの話し合いを通して、全職員が関わり、子どもの状況を配慮して対応しています。
- ◇ 第三者委員に直接苦情を申し立てることができるよう、「園のしおり」に記載して保護者へ伝えるとともに、事務室前に掲示しています。また、事務室前には苦情要望受付箱「ひまわりポスト」を設置して、保護者から意見や要望を出しやすいようにしています。
- ◇ 健康管理、衛生管理、安全管理等に関する各種マニュアルを整備して、全職員に周知徹底を図っています。事故や災害に対する緊急連絡体制も確立していて、定期的に避難訓練も実施しています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 地域の子育て支援ニーズを踏まえて、園庭開放、交流保育、育児相談、育児講座、保育園プチ体験、おしゃべりサロンなど、保育園の専門性を活かした子育て支援サービスに積極的に取り組んでいます。
- ◇ 園庭開放で来園する親子連れに園のお知らせを配布したり、地域ケアプラザで開催の育児支援事業への参画、地域のお年寄りに来園してもらっての「ふれあい遊び」などを通して、地域との交流・連携を進めています。
- ◇ 港南区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、小学校、幼稚園、保育園など、地域の関係機関とは連携ができています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は明文化され、職員に周知されています。
- ◇ 園長は重要な意思決定に際しては、関係職員および、「父母の会」等から情報・意見を集め、説明しています。
- ◇ 保育の理念、園目標、保育の姿勢を1枚のポスターにまとめて各保育室にも掲示して、職員に周知を図るとともに、園の取り組みの姿を保護者に紹介しています。
- ◇ 園長は事業運営に影響のある情報を収集・分析し、外部環境の変化に対応して、園目標や保育姿勢を実現するための取り組みを行っています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 人材育成は、横浜市の人材育成プランに基づいた研修計画に沿って積極的に行っています。横浜市子ども青少年局や港南区園長会が主催する各種研修会に参加するとともに、課題を定めた園内研修も実施しています。研修の成果は報告書にして回覧し、会議での報告を通して情報の共有化を図り、お互いの資質向上につなげています。
- ◇ 職員は、個々に資質向上に向けた目標を毎年、年度初めに定め、年3回の園長面接を通して達成度の確認・評価を受け、次年度の取り組みに反映させています。
- ◇ 実習生の受け入れは受入マニュアルに基づいて行っています。実習生には主任が担当責任者となって指導を行い、実習中に意見交換会を行い実習の成果を確かなものに行っています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念、園目標、保育姿勢は、子ども本人を尊重したものになっています。園長は新年度へ向けての会議において、保育の理念などを職員に説明し、全職員が理解を深めています。また、事務室や保育室には、保育の理念、園目標、保育姿勢を相互に関連付けて一つの形にまとめ、掲示により職員へ周知するとともに保護者へも紹介しています。 ・保育計画の作成にあたっては、保育理念、園目標、保育姿勢のほかに、地域の状況や環境等も考慮しています。また、行事の開催日などについては保護者の就労状況などにも考慮しています。 ・保育計画は、年度初めの懇談会で保護者に説明し、毎月の指導計画をクラスごとに掲示しています。 ・保育計画に基づき年齢ごとに年間・月間指導計画を作成しています。計画は、全職員が全園児との関わりを意識的に持って、会議やミーティングで子どもの様子についての情報交換を活かして作成しています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時には、担任保育士と保護者の面談を行い、必要な事項は面談用紙に記録しています。また、入園時には、保護者に児童票、健康台帳に必要な事項を記入してもらい、生育暦や家庭での状況を把握しています。 ・新入園児の受け入れにあたっては、短縮保育や、子どもの心理的拠り所とするタオルなどの持ち込みについて、十分な配慮を行っています。また、保護者との間での情報交換として、個人別連絡ノートを採用しています。 ・子どもの発達や状況に応じて指導計画（クラス別に年間・月別）の作成・評価・見直しを行っています。また、指導計画の評価・見直しにあたっては、クラスノートに保護者から記載された意見や、送り迎え時に伝えられる保護者の声や要望等も、考慮しています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・子どもが快適に過ごせるように、環境（清潔さ、採光、換気、照明等）面の配慮がされています。
- ・保育園の屋内・外とも、衛生管理マニュアルに基づいて、常に清潔に保たれています。保育室、廊下、トイレには季節ごとの花や実、鑑賞用の植物を飾り、子どもの感性を育てる環境に配慮しています。
- ・屋内はトイレ内に、屋外は園庭に、温水シャワーの設備を設けています。設備は毎日清掃し、安全点検表に基づき点検を行っています。
- ・各クラスにおいては、小集団保育が行われるように、保育室の使い方を工夫しています。園内は、特に異年齢交流の場を設定していませんが、日常的に行き来できるようになっていて、異年齢児間の交流の環境となっています。
- ・なお、1、2歳児クラスのトイレに関しては、前年度、改修工事が行われましたが、まだ臭いが気になる時があります。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・1、2歳児については、一人ひとりの個別指導計画（年間、月間）を作成しています。
- ・幼児についても、特別な課題がある場合については、個別の指導計画を作成したり、指導計画書の中に「個別配慮」の欄を設けて個人別に記録し、翌月の保育に活かしています。
- ・子どもや家庭の個別の状況・要望は決められた書式「児童票」に記録しています。また、入園後の子どもの成長発達の状況は「経過記録」として整理しています。これらの記録は、事務所に保管・管理して、全職員が共有できるしくみとなっています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・特に配慮を要する子どもを受け入れています。保育上で必要な事柄はカリキュラム会議で話し合い、情報を共有しています。また、個別の指導計画を作成していて、いつでも確認できるようになっています。
- ・障がいのある子どもの保育については、保護者の同意を得て、地域療育センターと連携し、年2回、定期的な巡回訪問指導でアドバイスを受けています。また、障がいのある子どもについての個別の指導計画を作成しています。
- ・職員は障がい児保育についての研修や学習会に参加した場合は、報告書にまとめて回覧し、その後の職員会議やカリキュラム会議等において報告・意見交換して日々の保育に活かしています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへは、保護者より提出してもらう「除去食申請に対する主治医意見書」に基づいて対応しています。
- ・全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されています。また、アレルギー疾患のある子どものファイルは、職員全員がいつでも確認できるようにしています。
- ・外国籍など文化の異なる子どもについては、保護者から宗教上のタブーなどを聞き取り、その文化の違いを受け入れ尊重しています。他の子どもたちには、文化や生活習慣の違いを理解できるように配慮しています。

- 6 苦情解決体制



- ・要望・苦情を受け付ける担当者は園長であることを保護者へは入園時に説明しています。また、事務室前に掲示にて案内しています。
- ・第三者委員に、直接苦情を申し立てられるように、「入園のしおり」に載せています。また、園内に掲示しています。
- ・事務室前に苦情要望受付ポスト「ひまわりポスト」を設置しています。また、懇談会や個人面談、行事の後のアンケート等を通して、保護者の意見や要望を積極的に聞いています。
- ・要望や苦情に対して迅速に対応するためのマニュアルを整備しています。ただし、園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関と連携することとしています。
- ・過去の苦情・トラブルや要望などのデータを蓄積・整理し、今後に活かしていく取り組みが望まれます。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 302 472 338">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ、絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）作りに積極的に取り組んでいます。 ・子どもの目線に合わせた棚におもちゃが種類、量ともに豊富に用意され、子どもが自由に取り出して遊べるようになっています。 ・布団棚の下に子どもが入り込んで遊べるスペースがあります。また、移動できるおもちゃ棚などを使ってコーナーを作ったり、園庭にはテーブルや椅子を設置し、子どもが落ち着いて遊べる環境に配慮しています。 ・自由遊びにおいては、子どもたちはままごとやブロック、電車、お絵かき、絵本、指編みなど、一人ひとりが好きなことをして集中して遊びこんでいます。保育士は子どもたちの自由な遊びを見守っていますが、遊びを発展させるために、おもちゃを足したり、声かけしたり、遊びに加わり、遊びがひろがるよう一人ひとりを援助しています。 ・幼児の一斉活動においては、保育士は活動の目的や方法について子どもたちに説明しています。また、安全のための約束を決めたり、友達と協力することの大切さについて話したりしています。 ・園庭でとうもろこし、枝豆、トマト、きゅうり、サツマイモなどを栽培しています。また、バケツを利用して米を栽培しています。子どもたちは栽培した野菜などを収穫し、調理してもらい食べています。 ・保育室では、めだか、やご、カブトムシ、青虫などを飼育し、それらを表現活動や行事のテーマにつなげています。また、保育室に生き物の図鑑や絵本、カードなどを置き、子どもたちの興味関心が広がるようにしています。 ・コーナーには子どもの年齢や発達に合わせて用具や素材をそろえ、自由に表現できるようにしています。幼児クラスには、はさみ、のり、紙、クレヨン、粘土、ストロー、空き箱、毛糸や自然物（どんぐり）など、自由に取り出せる素材が豊富に用意されています。子どもたちは自由に絵を描いたり、紙のハンドバックや紙相撲などを作ったりしています。保育士は子どもたちから希望があれば、素材を足したり、作り方を教えたり、手助けしたりしています。 ・子ども同士のトラブルでは保育士は、1、2歳児クラスにおいては、言葉で伝えるよう仲立ちし、必要な時は言葉を足しています。幼児クラスにおいては、双方の言い分をゆっくり聞いた上で、お互いが納得できるよう話し合いの仲立ちをしています。 ・3、4、5歳児は年間を通して「3きょうだい」という異年齢のグループを作り活動しています。夏の合同保育や運動会、お店屋さんごっこでもグループで行動しています。1、2歳児との交流としては、4、5歳児が着替えを手伝ったり、一緒に体操したり、散歩に行ったりしています。 ・雨の日以外は、園庭で遊ぶか、散歩に出かけ、屋外での活動をたくさんしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動をするときは紫外線対策として、首の後ろまで覆える帽子をかぶっています。プールには日よけネットを張っています。また、光化学スモッグ注意報を携帯サイトで受信し、発生時には、外へは出ずに窓を閉めるなどの対策を行っています。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を豊かに楽しむ工夫を種々こらしています。 ・子どもがあまり好きではない食材の時は、保育士は細かく刻んだり、いろいろ声かけし、一口だけでも食べるよう励ましています。少しでも食べられた時は褒め、どうしても食べられない時は減らして全部食べられるようにするなど、子どもたちが満足感を感じ、自信につながるようにしています。また、子どもの食べるペースを大切に、食べ終わるまでゆっくり待っています。 ・年齢ごと一年を4期に分けての配慮やポイントをまとめた「食育年間カリキュラム～楽しく食べて、みんなで育つ～（平成18年4月作成）」を、プロジェクトを立ち上げて作成するなど、食育に力を入れて取り組んでいます。 ・港南区では、18年6月から市立保育園で初めて幼児にも主食提供をはじめました。19年4月からは、区内の全市立保育園で実施しています。（上永谷西保育園では、18年の6月から実施しています。） ・食育として、調理員が子どもの目の前できゅうりを刻んだり、さんまを三枚におろして見せたりしています。また、子どもたちが、給食の食材の枝豆、そらまめ、とうもろこしの皮むきを手伝ったりしています。5歳児は今年、おにぎりや、芋ご飯、枝豆ご飯作りを体験しました。 ・食器はポリプロピレン製ですが、5年ごとに交換しています。また、肉・野菜は国産のものを用いるなど、安全性に配慮しています。また、調理員は配膳時に異物混入が無いことをチェックし、下膳時には異常がないことを確認しています。 ・毎月の職員会議や日々の下膳の時に、子どもの喫食状況を報告しあい、記録しています。毎月の職員会議の献立反省で保育士から出た意見や、喫食状況を基に、調理員は切り方や調理方法を工夫しています。 ・玄関に給食サンプルを置いています。また、人気のレシピは園だよりも掲載し、自由に持ち帰れるレシピも用意しています。 ・入園の日や、懇談会の日に、保護者が子どもの給食を味見する機会を設けています。 ・午睡時に、眠れない子どもや、眠くない子どもは静かに過ごさせるなど柔軟に対応しています。また、カーテンを閉めるなど、落ち着いて眠れる環境を作っています。 ・一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重して、活動の節目に声をかけトイレに誘っています。1、2歳児クラスでは、保育士は子どもたちのトイレの様子を見守り、「出たね！」と声をかけています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



- ・健康管理マニュアルは整備されていて、マニュアルの健康チェックポイントに従い、一人ひとりの健康状態を把握しています。
- ・歯磨き指導については、特に力を入れて取り組んでいます。1、2歳児は自分で磨かせてから、保育士が一人ひとりひざに寝かせて、仕上げ磨きをしています。幼児クラスは自分で磨いています。4、5歳児は歯科健診で赤染めを体験したり、歯の大切さについて学んだりしました。
- ・健康台帳、歯科健康診査票に、健康診断・歯科検診の結果を記録しています。また、身体測定の結果は健康カードに記載し、保護者に伝えています。健康診断や歯科健診の際には、嘱託医への質問事項を保護者から健康カードに記入してもらい、結果を返すなど、保護者との連携を密にしています。
- ・感染症の対応マニュアルがあります。また、「保育園のご案内」に、登園停止基準や保育中に感染症が生じた場合の対応が明記され、保護者に周知しています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理に関するマニュアルが整備されています。また、マニュアルは定期的に全職員で見直しを行い、内容を周知しています。
- ・1、2歳児クラスのトイレ、幼児トイレ、調理のトイレに掃除確認表をおき、清掃箇所を明記し、清掃漏れがないようにしています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



- ・安全管理に関するマニュアルは整備されていて、それに基づき毎週、保育士が安全点検を行っています。
- ・地震等を想定し、転倒防止策がなされている備品等もありますが、固定されていないものもあります。今後はさらに、災害時に備え備品等の転倒防止策を工夫することが望まれます。
- ・職員全員が救命救急法の研修を受けています。
- ・子どものケガについては軽傷であっても必ず口頭で保護者に報告し、保育日誌や引継ぎノートに記録しています。また、毎日のミーティングで事故やケガについて報告し、情報を共有し、再発防止策を検討、実施しています。日誌にヒヤリハットの記入用紙を挟んであり、気がついたときすぐに記入し、回覧して事例について共有しています。
- ・警備会社と契約し、正門と通用門に電子錠を設置しています。保育室には緊急通報ボタンを設置しています。また、散歩の時には警備会社につながる緊急通報用の携帯電話を携帯しています。
- ・地震や火事の避難訓練および消火訓練を毎月、実施しています。また、神奈川県安全・安心まちづくり推進課のくらし安全指導員による、不審者対応訓練や、子ども向けの誘拐防止教室を実施しました。

- 3 人権の尊重



- ・職員会議において、子どもを呼び捨てにしたり、ニックネームで呼んだりしないように話し合うなど、子どもの人権について、全職員が認識しています。
- ・生活や遊びの中で、安全や衛生面から必要と思われる園児との約束事項を決めています。必要に応じて、保育士は子どもたちに、なぜいけないか、なぜ守らなければならないか、子どもたちにわかりやすい言葉で納得できるように話しています。
- ・布団棚の下に子どもが入れるスペースを作ったり、おもちゃ棚などでコーナーを設置し、友達や保育士の視線を意識せずに過ごすことができる場を確保しています。また、必要に応じて、廊下や事務室、予備室（カンガルー室）で子どもと一対一で話し合うことができます。
- ・守秘義務の意義や目的、個人情報の取り扱いについて全職員に周知しています。ボランティアや実習生に対しても、オリエンテーション時に心構えや守秘義務について説明しています。
- ・個人情報が含まれる書類は個人用のメール袋に入れて、保護者に直接、手渡ししています。また、園外保育用のリュックサックには個人情報を入れないようにし、子どもの名札は個人名ではなく園名と園の電話番号を記入しています。
- ・園内研修にて、虐待の定義や、見分け方について研修を行いました。虐待が疑わしいような場合はすぐに園長に連絡し、園長が確認後、児童相談所に相談・連絡する体制になっています。
- ・遊びや行事の役割、持ち物、服装、グループ分け、整列などで性別による区別はしていません。

- 4 保護者との交流・連携



- ・入園説明会や懇談会で保育園の基本理念、園目標、保育姿勢について説明しています。玄関や保育室には、基本理念、園目標、保育姿勢を分かりやすく掲示し保護者へ紹介しています。また、毎月の指導計画を要約して「今月のねらい」と題して、クラスごとに掲示して保護者へ伝えていきます。
- ・1、2歳児は個別連絡ノートで、3、4、5歳児はクラスノートで、その日の子どもの様子を保護者に知らせています。クラスノートには保護者がサインする欄と、意見を書く欄を作り、情報交換ができるようにしています。
- ・年1回個人面談、年2回クラス懇談会を実施しています。子どもの様子に変化があった時などには、保護者に声をかけて適宜、個人面談を行っています。
- ・保護者との面談中は「面談中」のプレートを掛け、相談内容などを人に聞かれないよう、中断されないよう配慮しています。相談内容については担当保育士から園長や主任に相談できる体制になっています。また、必要に応じて、園長が同席しています。
- ・「てをつなごう」（園便り）を毎月発行しています。また、行事の前にクラス便りを、年4～5回絵本便りを発行し、情報提供しています。
- ・行事やクラス活動を写真にとり、リアルタイムに速報として保育室に掲示して、保育の様子を伝えていきます。

- ・保護者が1年中いつでも保育参加ができるように、クラスごとに保育の予定を書き込んだカレンダーを置き、希望日を記入してもらっています。また、入園の日は昼まで保護者が子どもと一緒に過ごし、保育の様子を見てもらっています。
- ・父母の会が開園当初からあり、七夕夏祭りなどを園と共催で行うなど活発に活動しています。また、年度末の父母の会の役員会で意見交換し、園の次年度の計画に反映するなど、父母の会と常にコミュニケーションをとっています。

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て支援のサービスとして、七夕夏まつり、プール開放、どろんこ遊び、保育園プチ体験等の交流保育や、月～金曜の午前中は園庭開放を行い、「おしゃべりサロン」を毎月開催するなど、力を入れています。 ・地域ケアプラザと協同で、育児支援事業「ひよこ広場」を行っています。また、地域ケアプラザで行っている「ポケットパーク」にも職員を派遣し協力・参画しています。 ・港南区の子育て連絡協議会に参加して意見交換を行ったり、交流保育や育児講座でのアンケート、子育てサロン「おしゃべりサロンカンガルー室」を通して、地域の子育て支援のニーズを把握しています。 ・地域住民に向けた子育てや保育に関する講習・研修会として、今年度は「食育講演会～子どもに食べさせたい本物の味」と題した育児講座を開催しました。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の専門性を活かした育児相談は随時、実施しています。また、毎月開催の育児相談も兼ねた「おしゃべりサロン」は、“おしゃべりをしましょう、絵本やおもちゃであそびましょう”との内容で気軽に育児相談ができる環境となっています。 ・園からのお知らせは、園庭開放で訪れた地域の親子や、散歩で交流した親子にチラシとして配布しています。また、区役所や地域ケアプラザにもチラシを置き、情報提供しています。 ・園庭にも子育て支援の情報コーナー（ウォールポケット）を作っており、園庭開放で訪れた親子へ育児に関する知識や、周辺の子育て支援の情報等を提供しています。 ・子育て支援に係わる関係機関や地域の団体等は、リスト化してまとめられていて、日常的に連携ができています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の行事である「ふれあいの日のつどい」に、地域のお年寄りのサークルを招待して、ふれあい遊び・伝承遊びなどを通して、交流を行っています。 ・高校生の福祉体験や中学生の職業体験などの受け入れ、小学校の運動会に園児と保育士が参加したり、就学前に小学校を訪問するなど、学校教育との連携を行っています。 ・子どもたちは、散歩の際に地域の人々とあいさつを交わしたり、お話しを通して交流を図っています。また、子どもたちは、消防署に見学に行ったり、保護者の経営しているお店や、食材の仕入先のお店の見学などを通して、地域の人達と交流しています。 ・年長児は、小学校訪問や、港南区の育児支援事業「こどもフェスティバル」における他の保育園・幼稚園の子どもたちとも交流を持っています。 ・なお、地域とは、いくつかの催しを通して交流は行っていますが、町内会やボランティアグループ等の地域の団体や機関と、定期的・計画的に交流を図っている状況には至っていません。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレット、横浜市子ども青少年局や港南区のホームページ等により、地域や関係機関に園の情報を提供しています。 ・園の基本方針や利用条件・保育サービスの内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようにしています。また、入園申込みに関するQ & Aを備えています。 ・入園希望者へは、見学が出来ることを案内していて、見学を勧めています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験等のボランティアや、福祉専門学校等からの実習生の受け入れにあたっては、マニュアルにより対応しています。主任からボランティアおよび実習生に対して心構えや、園の決まり事等を説明しています。また、あらかじめ職員や子どもたちへ基本的考え方・方針を説明し、保護者へは園だよりで知らせています。 ・ボランティア終了後は、感想文を提出してもらい、今後の受け入れの参考にしています。 ・実習生に対しては、実習目的に応じた効果的な実習が行われるように、派遣依頼校と連絡をとり、プログラム等を工夫しています。担当クラスの保育士は一日の終わりに実習生と話し合い、実習状況を確認しています。また、実習中には園長・主任・担当クラスの保育士と実習生との意見交換の場を設け、実習を実りあるものにしていきます。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念・姿勢をふまえた保育を実施するよう、人材育成計画を策定し、取り組んでいます。 ・職員・非常勤職員の研修体制が確立していて、園長が個々の職員の研修ニーズも配慮した研修計画を作成しています。 ・園内研修は毎年課題を設定して実施しています。また、外部研修にも積極的に参加していて、研修の成果は報告書にまとめて回覧し、その後、会議等で報告を行って、日々の保育の実践に活かしています。 ・非常勤職員の業務にあたっては、職員と非常勤職員との組み合わせを配慮すると共に、日常の指導を行っています。また、非常勤職員も会議等に出席して、保育の様子や課題について意見交換を行っています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム会議や職員会議で課題を討議・情報交換をして、保育の見直しを行い、それが個々の職員のスキルの問題としての自己評価につながっています。 ・カリキュラム会議や職員会議においては、工夫・改善した良い保育事例をもとにした意見交換を行っていて、より一層の保育の向上が図られています。 ・地域療育センターの巡回訪問指導など、外部から保育の技術の評価・指導を受ける仕組みがあります。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに園長から職員に、経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として示され、それぞれ目標を立てて仕事に取り組んでいます。 ・職員からの業務改善の提案などは、職員会議やミーティングで話し合わせ、日々の保育に活かされています。 ・園長は、個別面談を通して職員の満足度や要望を把握するとともに、年度末にはアンケートにより課題や業務改善について意見・要望を取って運営に活かしています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者として守るべき法・規範・倫理等は明文化され、職員に周知されています。また、保育士倫理綱領は掲示して、日々の振り返りに活かしています。 ・他施設での不正、不適切な事案は、啓発資料として職員に回覧し同種事故の発生防止に努めています。 ・ゴミ分別の励行、EM菌を使用して野菜くずや残飯を肥料に変える、牛乳パック、ペットボトルキャップ、かまぼこの板などの遊具への利用など、ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいます。 ・暖房・冷房の設定値の徹底を図る、水道の無駄な仕様の防止など、省エネルギーの促進に取り組んでいます。また、ISO活動として電力・ガス使用量については削減目標を設定するなど、環境へ配慮した取り組みに努めています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、園目標、保育姿勢等は明文化し、各保育室にわかりやすく掲示して、職員への周知を確実なものにしています。 ・園長は、新年度へ向けての会議において、保育の理念、園目標、保育姿勢について職員に説明し、全職員が理解を深めています。 ・園長は、保護者組織である父母の会と連携を密にして、必要な情報交換を行うとともに、重要な事項については必ず保護者との意見交換を行っています。 ・主任は、積極的に職員の業務状況の把握に努めています。個々の職員の能力や経験に合わせた的確な助言や指導を行うとともに、常に職員への声かけに努め、職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるように気配りしています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、市園長会や区園長会への参加、新聞やインターネット情報などを通して、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。 ・また、園長は収集・分析した情報の中から、重要な情報は職員会議等で伝え、日々の保育の取り組みに活かしています。

利用者家族アンケート 分析

- 1、 実施期間 2007年12月1日～12月14日
- 2、 実施方法 事業者から全園児の保護者に直接配付（手渡し）
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関に無記名で返送。
- 3、 回収率 74.6%（63枚配付、47枚回収）
- 4、 所属クラス 1歳児クラス...3人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...13人、4歳児クラス...15人、
5歳児クラス...8人
ただし同一家族で兄弟姉妹が園に在籍の場合は、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

【問1】保育目標や保育方針について

62%の保護者が「知っている」と答え、「知っている」と答えのうち97%の人が「賛同できる」と回答しています。

「知っている」は、「よく知っている」と「まあ知っている」をあわせた数値。

「賛同できる」は、「賛同できる」と「まあ賛同できる」をあわせた数値。

なお、数値は小数点第一位を四捨五入しています（以下同様）。

【問2】入園時の状況について

「入園時の面接などでお子さんの生育暦を聞く対応」「保育園の一日の過ごし方についての説明」「費用やきまりの説明」などについては、80%以上の保護者が「満足」と答えています。一方、「見学の受け入れ」「入園前の見学や説明など園からの情報提供」「園の目標や方針の説明」などについては、満足度が高くありません。入園に関わる諸事項について、保護者との間で連絡等が十分に取れなかったことなどが関係していると思われます。今後は、入園前の見学や情報提供などにゆとりをもった対応が望まれます。なお、「見学の受け入れ」について、26%の保護者が「その他」と答えています。これは、“見学をしていない”“見学を希望していない”との意見が大部分ですが、“見学が出来る事を知らなかった”との意見もありました。

「満足」は、「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた数値（以下同様）。

【問3】年間の計画について

80%以上の保護者が「満足」と答えていますが、13%の保護者は「不満」と答えています。園では行事の後に、アンケートにより保護者から意見や要望を求め、計画や運営に反映していますが、「年間の保育や行事」については、説明を十分に行うことにより、保護者から一層の理解と協力が得られるよう望まれます。

「不満」は、「不満」と「どちらかといえば不満」をあわせた数値（以下同様）。

【問4】日常の保育内容について

「遊び」については、ほとんどの項目で90%以上の保護者が「満足」と答えています。外遊び、自然に触れたり園外活動、おもちゃの素材などに満足している意見がありました。

「生活」については、「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」の3項目について90%以上の高い満足度となっています。一方で、「ケガに関する保護者への説明やその後の対応」については、“ケガについては丁寧に対応して頂いている”との意見もありますが、13%の保護者が「どちらかといえば不満」と答えています。“友達によるケ

ガについては、もっと情報が欲しい”との意見があります。今後とも、保護者への確かな、そして十分な説明が望まれます。

また、「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなど」についても、13%の「不満」回答があります。“昼寝のためか、夜寝るのが遅くなる”との意見があります。

【問5】快適さや安全対策などについて

保育園の「施設設備」について40%近い保護者が「不満」と答えています。“施設が古い”“耐震性はどうか”“トイレが臭います”など、施設の改善を望む意見があります。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「園の行事の開催日や時間帯への配慮」「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」以外の各項目に対して、80～90%の保護者が「満足」と答えています。

“相談に乗ってくれる”“親切に対応してくれる”など感謝の言葉がある一方、“忙しそう”“話しかけにくい”“先生によって対応が違う”との意見があります。また、“懇談会、個人面談等の行事を土曜日に開催して欲しい”、との意見が数名の保護者から出ています。

【問7】職員の対応について

各項目について、85%以上の保護者が「満足」と答えています。“すぐ対応してくれます”“満足しています”“優しいです”など保育士の誠意ある対応に感謝の言葉が見られますが、保育士とのより話し易い雰囲気を求める意見があります。なお、「アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮」についての問に対する「その他」21%は、そういった子どもについての情報が少ない保護者の意見と思われる。

【問8】保育園を総合的に評価すると

94%の保護者が「満足」と答えています。

【問9】園への要望など

“アットホームで、良い保育園です”と園に満足している意見があります。要望意見としては、“運動会をもっと広い所で行って欲しい”“設備面の改善が必要です”などの声がありました。

まとめ

- ◇ 全体的に、保育園および職員に対して、保護者の満足度は高くなっていますが、保護者とは更に話しやすい雰囲気作りが望まれます。
- ◇ 懇談会、個人面談などの行事の開催曜日については、保護者の皆さんと意見交換を十分行い、より良い理解の下での実施が望まれます。
- ◇ 設備面の改善については港南区の所管事項ではありますが、園として検討を重ね、改善事項をまとめて港南区と折衝していくことが必要と思われる。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

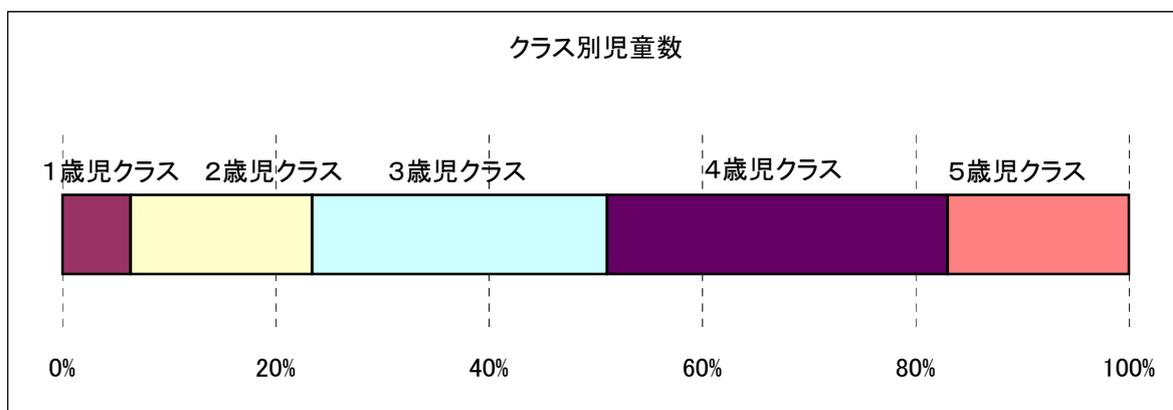
実施期間： 2007年 12月1日～12月14日

回収率： 74.6% （回収47枚／配布63枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
47	/	3	8	13	15	8	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



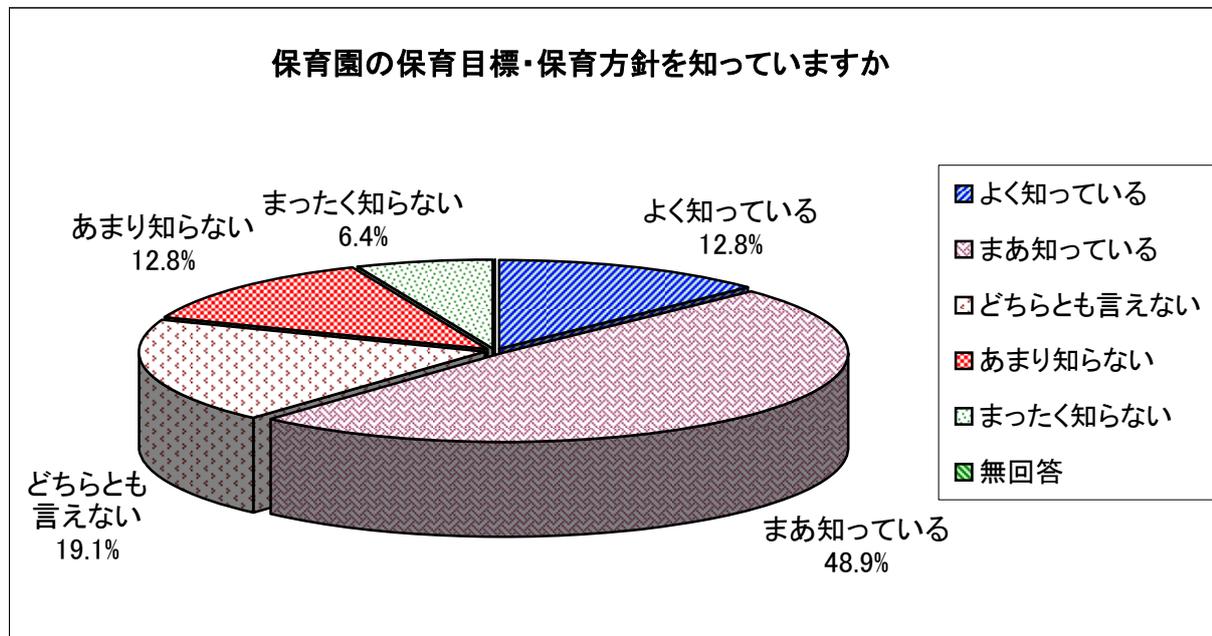
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	12.8	48.9	19.1	12.8	6.4	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

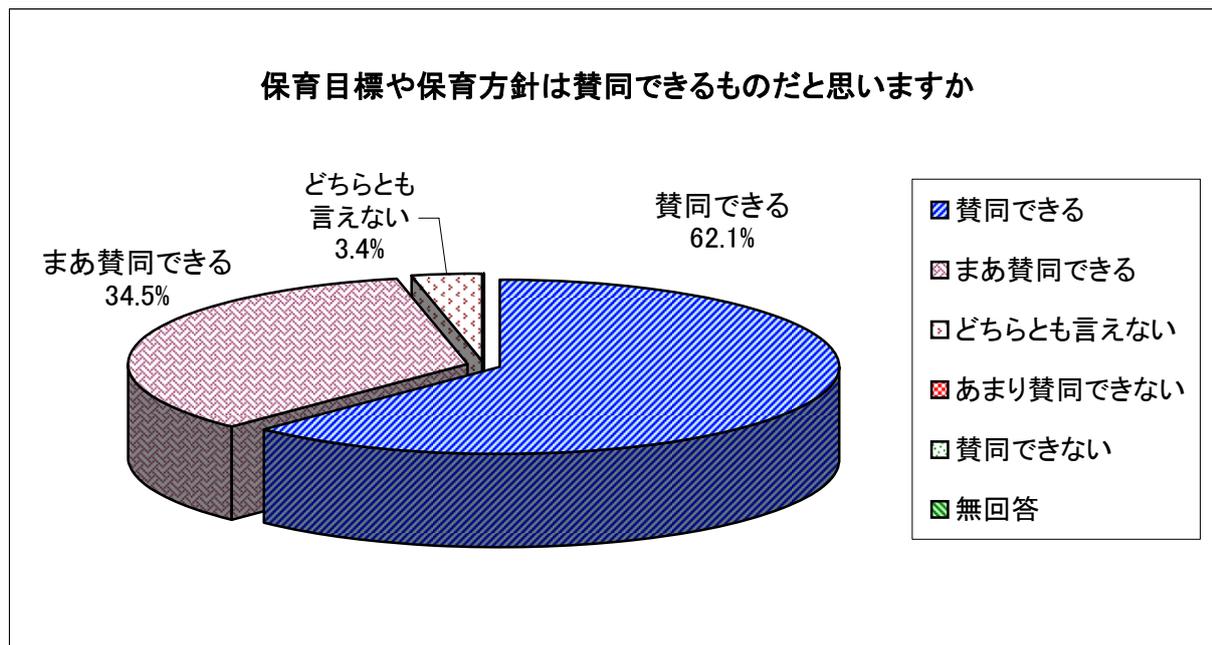


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	62.1	34.5	3.4	0.0	0.0	0.0	100



■ 保育園のサービス内容について

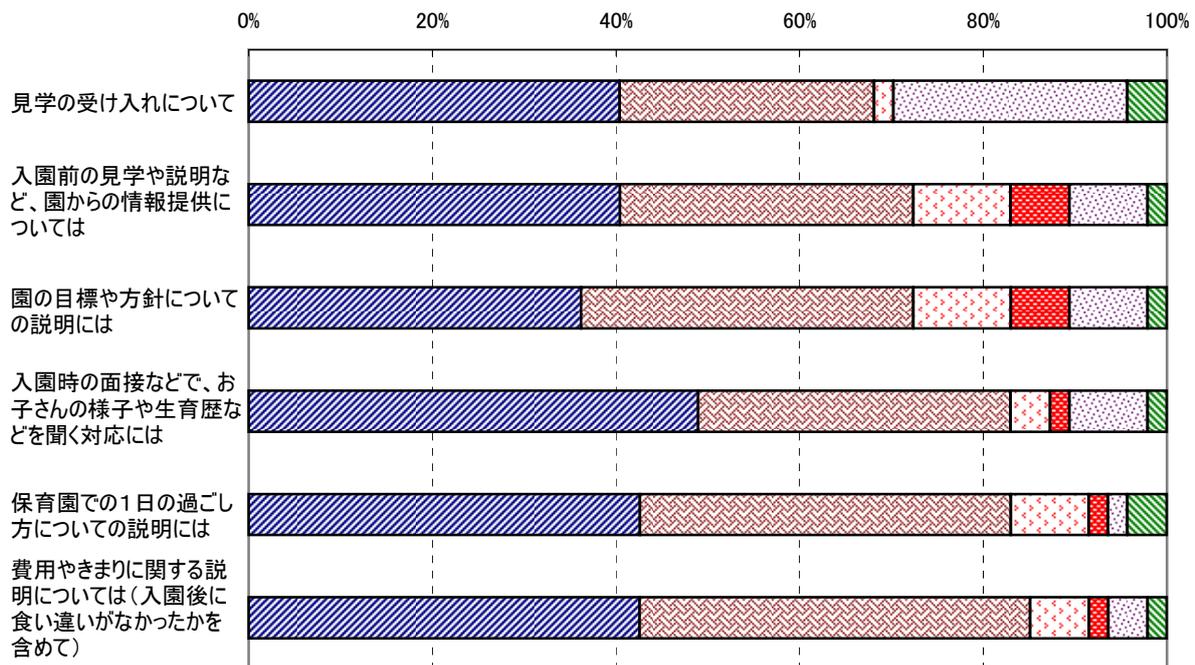
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	40.4	27.7	2.1	0.0	25.5	4.3	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	40.4	31.9	10.6	6.4	8.5	2.1	100
園の目標や方針についての説明には	36.2	36.2	10.6	6.4	8.5	2.1	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	48.9	34.0	4.3	2.1	8.5	2.1	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	42.6	40.4	8.5	2.1	2.1	4.3	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	42.6	42.6	6.4	2.1	4.3	2.1	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



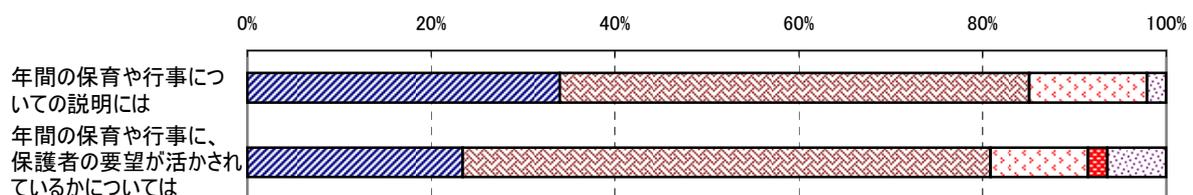
問3 保育や行事の年間計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	34.0	51.1	12.8	0.0	2.1	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23.4	57.4	10.6	2.1	6.4	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



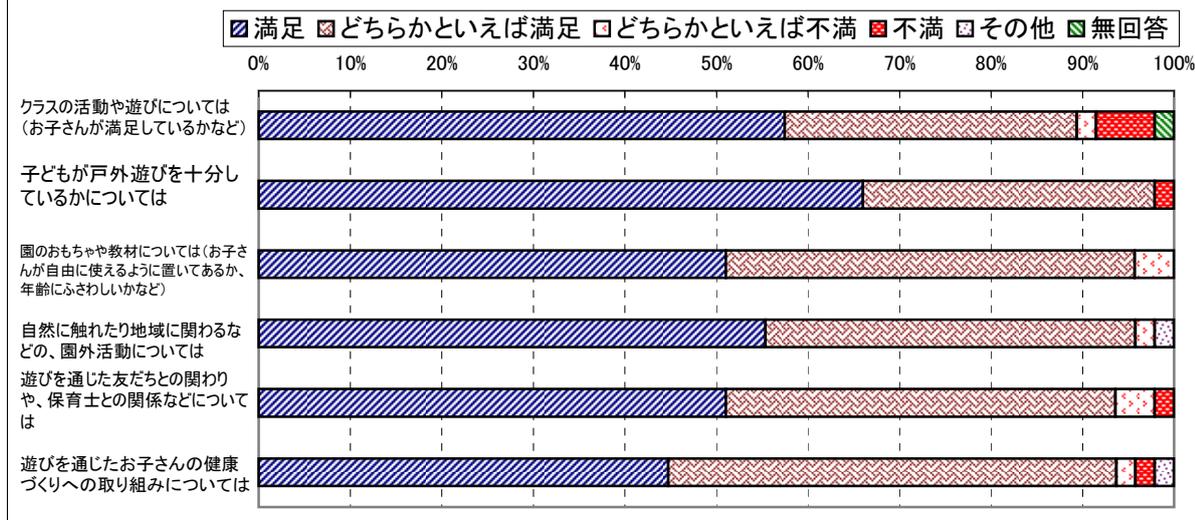
問4 日常の保育内容について

(%)

●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	57.4	31.9	2.1	6.4	0.0	2.1	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	66.0	31.9	0.0	2.1	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	51.1	44.7	4.3	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	55.3	40.4	2.1	0.0	2.1	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	51.1	42.6	4.3	2.1	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	44.7	48.9	2.1	2.1	2.1	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

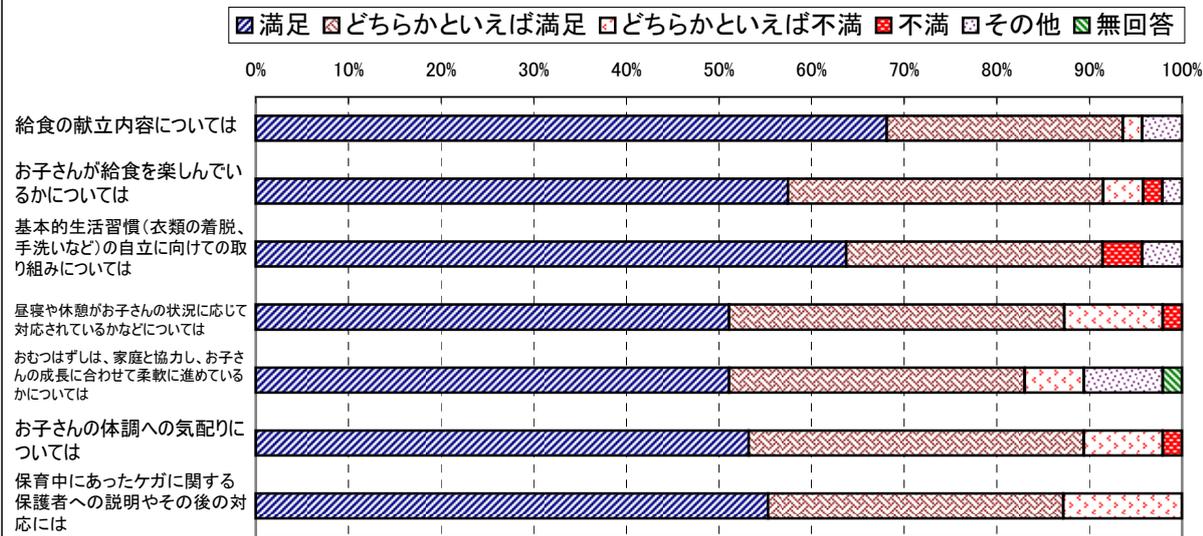


(%)

●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	68.1	25.5	2.1	0.0	4.3	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	57.4	34.0	4.3	2.1	2.1	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	63.8	27.7	0.0	4.3	4.3	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	51.1	36.2	10.6	2.1	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	51.1	31.9	6.4	0.0	8.5	2.1	100
お子さんの体調への気配りについては	53.2	36.2	8.5	2.1	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	55.3	31.9	12.8	0.0	0.0	0.0	100

日常の保育内容「生活」について



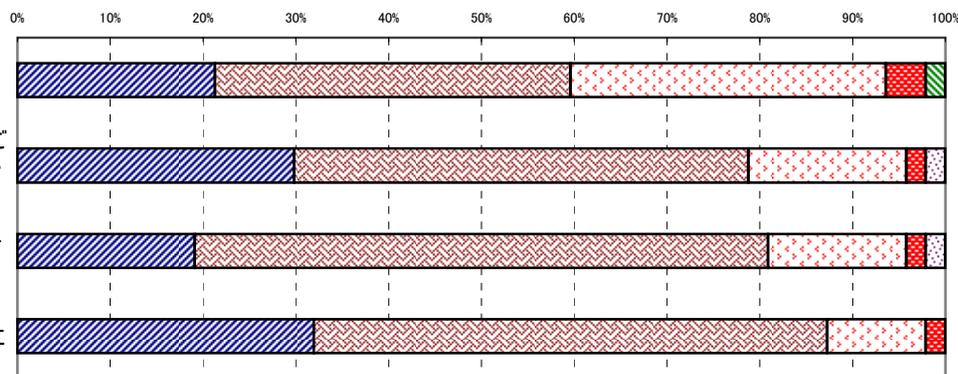
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	21.3	38.3	34.0	4.3	0.0	2.1	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	29.8	48.9	17.0	2.1	2.1	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	19.1	61.7	14.9	2.1	2.1	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	31.9	55.3	10.6	2.1	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



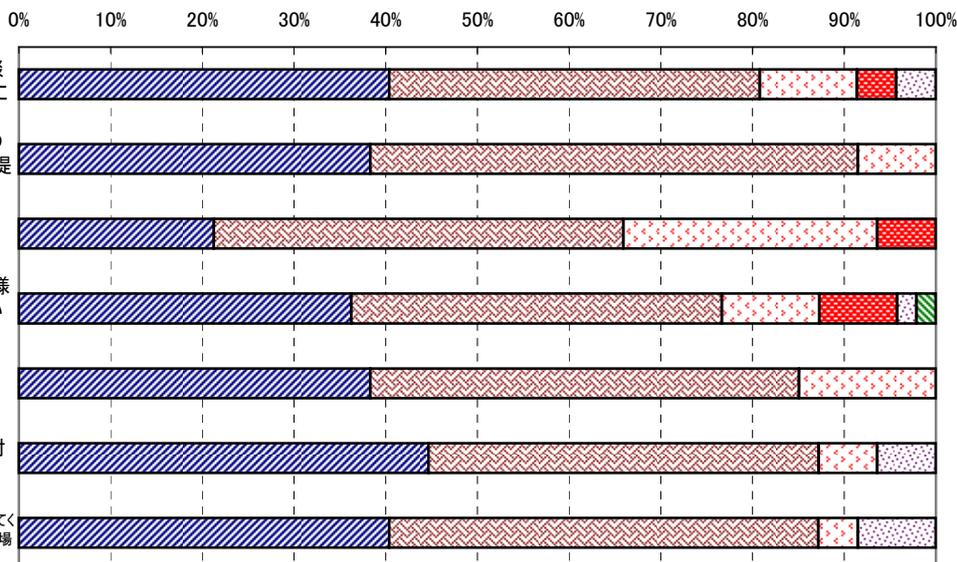
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	40.4	40.4	10.6	4.3	4.3	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	38.3	53.2	8.5	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	21.3	44.7	27.7	6.4	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	36.2	40.4	10.6	8.5	2.1	2.1	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	38.3	46.8	14.9	0.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	44.7	42.6	6.4	0.0	6.4	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	40.4	46.8	4.3	0.0	8.5	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

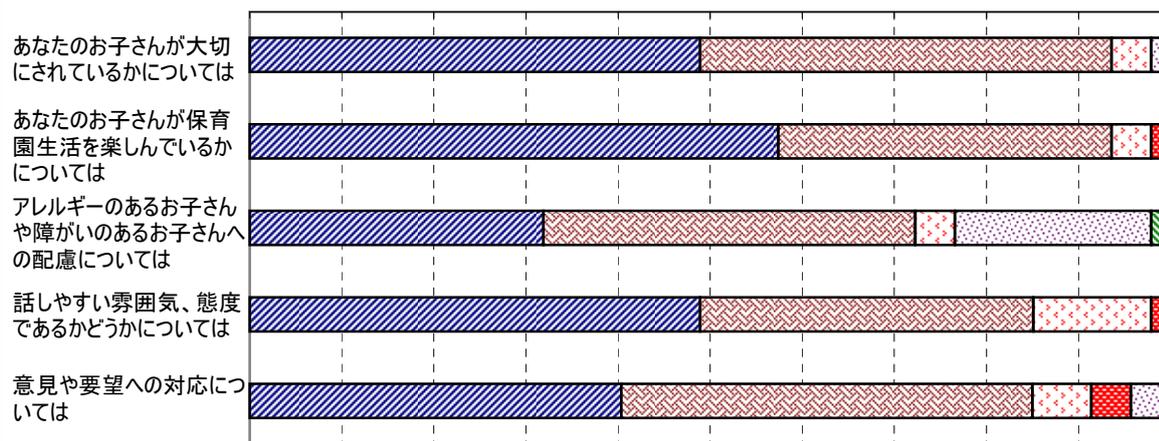
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	48.9	44.7	4.3	0.0	2.1	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	57.4	36.2	4.3	2.1	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	31.9	40.4	4.3	0.0	21.3	2.1	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	48.9	36.2	12.8	2.1	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	40.4	44.7	6.4	4.3	4.3	0.0	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

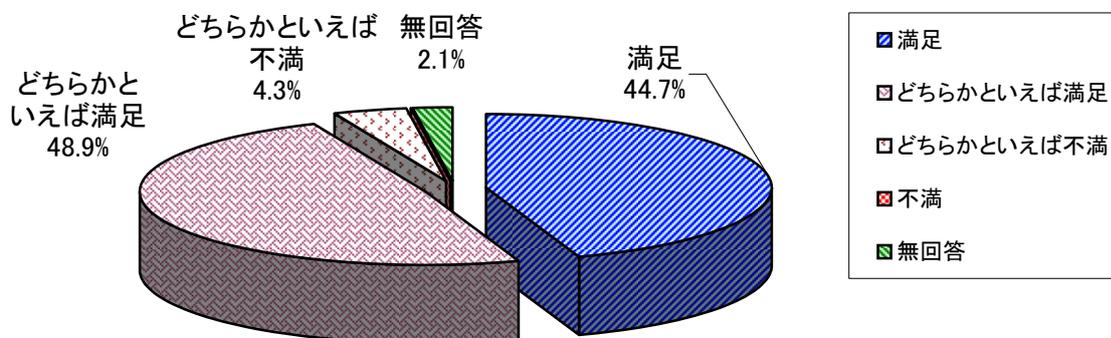


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	44.7	48.9	4.3	0.0	2.1	100

総合満足度



利用者本人調査 分析

観察調査 2月25日(月)主に2歳児、3歳児、5歳児クラス対象
2月27日(水)主に1歳児、4歳児クラス対象
両日とも9:00~13:00を中心に、断続的に保育観察を実施しました。
観察中、5歳児以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

1歳児クラス(あり組)

この日は避難訓練でした。「火事ですよ」の声に保育士に手を引かれて外に避難しました。避難訓練の後、そのままコートを着て外で遊びました。最初にCDにあわせて2歳児と一緒に体操をした後、コンビカーに乗ったり、シャベルで穴を掘ったり、ボールをけったり、それぞれが好きなこととして遊びました。友達とボール遊びをしたいのに、交互にけることができずうまく遊べないときは、保育士が間に入り、声をかけて交互にけるよう援助していました。

30分ほど遊んだ後、給食まで保育室で絵本、ブロック、ままごと、電車などで遊びました。一人が絵本を覚えていて大きな声で読むと、周りにいる子どもたちも「がちゃん」などの擬音を一緒に言いました。月齢の高い子どもたちはおもちゃを交互に使うこともできます。おもちゃの取り合いの時は、保育士は「貸してと言おうね」と伝え、仲立ちしていました。

食事の時は、保育士は子どもたちのそれぞれのペースにあわせ、給食を皿の上で小さく刻んであげたり、減らしてあげたりします。食べられない時は、「一口でも良いから食べてみよう」「これ食べたらりんごにしようね」などと声をかけて励まし、手助けをしていました。どうしても食べられない子どもには量を減らして一口だけにし、全部食べて満足感を味わえるようにし、ほめていました。保育士は子どもが食べ終わるまで、様子を見守っていました。

パジャマに着替えた後は、全員座って、保育士のマネをして自分たちで歯を磨きました。最後に、一人ひとり保育士のひざに横になり、仕上げ磨きをしてもらいました。歯ブラシをくわえて歩き回った子どもには「そのまま転んだら危ないから、座って磨くお約束だよ」と、はっきりと注意をしていました。

2歳児クラス(ひよこ組)

午前のおやつ後は自由遊びです。布団棚の下のスペースに入り込み絵本を読んだり、買い物バッグを持って歩いたり、ぬいぐるみを持って追いかけてこしたりと自由に遊びました。お片づけの時は、皆出したものをきちんと片付けることができます。保育士の絵本の読み聞かせのあとは、この日はリズム運動をしました。「どんぐり」「うさぎとび」「アヒル」「ポートこぎ」など、楽しそうに元気良く動きました。

リズム運動のあとは園庭での外遊びです。保育士がまず外に出て、園庭の砂が飛び散らないよう、じょうろで水をまいて準備しました。子どもたちはその後が続いて外に出て、じょうろでプランターのチューリップとヒヤシンスに水遣りをしました。そのあと、保育士が園庭に水まきしながら描いたアンパンマン・カレーパンマンの絵や、線の上を子どもたちが三輪車で駆け回ったり、砂場でままごとをしたりして自由に元気に遊びました。

給食では、保育士は「野菜も食べようね」「最初はお箸でがんばってみようね」などと声をかけ、全部食べた子どもには「わーすごい」とほめていました。食後の歯磨きは、並んで座り、まず保育士に「しゃかしゃかしてください」と言われて自分たちで磨いたあと、名前を呼ばれた子どもが前に出て、丁寧に仕上げ磨きをしてもらっていました。

自分から言ってトイレに行く子どももいます。言わない子どもには保育士が声をかけ、トイレに誘っていました。

3歳児クラス(うさぎ組)

朝、登園してきたら自由遊びの時間です。ブロック、紙相撲、折り紙、フリルの付いたスカートをはいてお姫様・とそれぞれ好きなことをして遊びます。「10時まで片付けてください」という保育士の言葉で、子どもたちは皆、

協力して、上手に片付けていました。一段落したところで、椅子に座って保育士の話を聞きました。皆、熱心に真剣に聞くことができます。朝の会では、当番が前に出てあいさつをしたあと、今日の予定を「スケジュールボード」を使って、保育士が説明しました。

朝の会のあと、トイレに行ってから、園庭に出て遊びました。三輪車、縄跳び、かけっこ、タイヤ引き、ジャングルジムと思いきり体を動かして遊びます。友達同士で何かトラブルがあると、保育士が間に入って、仲立ちしました。

給食では、ご飯とお茶を当番が配りました。「ご用意はいいですか」「いただきます」のあいさつのあと、皆でおしゃべりをしながら、楽しく食べていました。

4歳児クラス（くま組）

朝の自由遊びでは、ブロックやお絵かき、工作、すごろく、神経衰弱など、それぞれ好きなことをして遊びました。棚には自由に使える色紙や竹ひご、ストローやペットボトルのキャップなどが並び、3~4人の子どもは保育士に教わりながら、この日は紙でおひな様を作っていました。みんな、ほとんどわき目も振らず一生懸命でした。また、紙でハンドバッグを作る子どもたちもいました。紙で器用に留め金も作り、ちょっとした小物が入るバッグで、首から下げて見せに来てくれました。

朝の会ではあいさつ、当番の紹介、その日の予定を話したあと「ひな祭り」を皆で歌いました。避難訓練の後、園庭に出て、2歳児と音楽に合わせて体操をしました。自由遊びでは縄跳びやサッカーボールけり、砂場、かけっこと思いの遊びにそれぞれ夢中でした。保育士は縄跳びやボールけりで一緒に遊びながら、子どもたちの様子を見ていました。ボールの取り合いなどトラブルの時は、保育士は双方の言い分を時間をかけてじっくり聞き、話し合う手助けをしていました。

食事のテーブルには球根の水栽培の花などが飾られています。給食は皆、楽しそうにおしゃべりをしながら、よく食べていました。

5歳児クラス（ぞう組）

朝の会の前に身体計測があり、子どもたちは何センチ伸びたか、何キロ増えたか、とても嬉しそうに話し合っていました。朝の会では、当番のあいさつのあと、保育士がカレンダーを使って、その週とその日の予定を説明しました。

この日は卒園制作の四季の貼り絵を、春・夏・秋・冬の4グループに分かれて一斉活動として行いました。とても集中しているグループもあれば、途中で集中力が途切れて遊んでしまうグループもありました。保育士はそれぞれのグループを回って声がけしたり、皆の意見を聞いてアイデアを出したり、励ましたりし、手助けをしていました。子どもたちそれぞれの作品への思いが違い、もめてしまったグループには、活動の意味や皆で協力する大切さを話し、皆で意見を話し合う仲立ちをしていました。

一斉活動のあとは、園庭での外遊びです。皆でこおり鬼をして園庭中を駆け回り、楽しく遊びました。自由遊びでは、ままごと、鬼ごっこ、ボール遊び、三輪車など好きなことをして遊びました。

給食の時は、あらかじめ調理室でよそわれたものを当番が配りました。減らしたり、おかわりは自由にできます。皆よく食べ、用意したおかわりは、ご飯以外は全部無くなりました。

保育士・職員について

保育士は子どもたちが落ち着いて遊べるよう、環境作りに気を配っています。健康面、安全面などから、遊びや生活の中で子どもたちとの約束事項を決め、なぜ守らなければならないか、ゆっくり、わかりやすく話し、危険があるときははっきりと注意しています。子ども同士のトラブルにおいては、保育士は双方の言い分をじっくりと聞き、乳児クラスには口で言うよう仲立ちし、幼児クラスには話し合っただけで解決できるよう援助していました。

第三者評価を受審して

横浜市上永谷西保育園

職員で相談して第三者評価を受審しようと決めてから、自己評価に取り組みました。なかなか時間を作るのが大変でしたが、夕方15分のミーティング時間を活用して1項目ずつ話し合っていました。「この項目はできていないけど、これからやっていきましょう。」「さん担当して原案を作ってください。」「この項目はできているね。・・・もやっているし。」「主任や園長の仕事は判らないことが多い。」等、全員が発言し、いつも話し合いは長引きましたが、真剣に自己評価できたと思っています。

この自己評価が、保育園にとっては宝物となりました。ひとつの項目について話し合う時、自分はどうかと保育を振り返り、こうやってみようという気付きや工夫が生れてきました。職員間で意見を交わす中で、いろいろな考え方があることを知り、共通理解につながりました。まだまだ充分とは言えませんが、保育園が更にステップアップするための土台ができたと思っています。

職員の感想から ~ 第三者評価をとおして気付いた事 ~

- ・ 取り組む前は大変さだけが前にあったが、いざ取り組んだ後は、とてもためになり、気付きや改善点もあり良かった。
- ・ 評価基準に照らし合わせて振り返りができ、自分自身も、保育園全体についても、良い部分と悪い部分が分かった。
- ・ 私たちの仕事の奥深さや、どんなことに配慮していくことが大切なのか、一歩立ち止まって、職員で考え、話し合うことができたことは貴重だった。
- ・ 職員全員の意識が高まり、自分以外の仕事を理解できた。
- ・ 誰が見てもできるマニュアルは必要であり、結果として全体の質の向上につながると思った。
- ・ マニュアルの作成、環境構成、保育内容など、普段何気なくやっていること、気を付けていかなくてはいけないことを見直すことができた。
- ・ 互いの意見を言い合える場が今まであまりなかったということに気がついた。
- ・ 職場のみんなと話し合いをしていく中で、自分自身触発されてよかった。
- ・ 保護者アンケートから、本音の声が聞けてよかった。
- ・ 日々の保育に追われ、自分のクラスのことしか今まで頭になかったと改めて感じた。保育園全体の仕事が見えたので、これから実践していきたい。

評価機関「市民セクター」にお世話になりました。保育園の保育が子どもや保護者にとってより良い施設となるようにという視点とともに、働く職員の後押しもしていただいたと思っています。ありがとうございます。

園長 関口 悦子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/index.html>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

特定非営利活動法人



評価実施機関：

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号18-10

介護サービス情報の公表 神奈川県指定調査機関 08

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26 洋服会館ビル2F

TEL 045-222-6501 FAX 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>
